

【佐賀県立伊万里実業高等学校】文理融合型教育による「いまりん6次化」実践プログラム

目的

- 地域から求められる専門高校として、地域資源を活用した「6次産業化」を実践できる人材育成が必要
- 多様化する進路ニーズに適応した学びが必要

カリキュラム概要

6次産業化人材を育む文理融合型の学科・教科等横断による専門教育を推進する実業系高等学校の新しい教育モデルの確立と普及

新しい教育方法

学科の枠を超えた学び合いと外部講師の活用

伊万里実業高校コンソーシアム

高等研究機関(大学等)

専門家・実務家等

地元自治体等

地元住民・企業等

コーディネータ
連携・協働

商業科

情報
処理科森林
環境科生物
化学科伊万里実業高校
農林キャンパス
商業キャンパスフード
ビジネス科

令和5年度の目標

- 学科の枠を超えた学び合いを行うことで、多様な専門教科に興味・関心高めるとともに、高い専門性の融合による、多様で幅広い視野をもって課題を解決する人材を育成する。
- 外部講師を積極的に活用することで、学校の枠を超えた多様で幅広い視野をもって課題を解決する人材を育成する。

取り組み状況

【キャンパス間交流学习】

「農業科」と「商業科」の生徒が互いに相手のキャンパスに移動して交流学习を体験することで、それぞれのキャンパスの学びを理解するとともに、それぞれの専門学習に興味関心を高める。

【課題研究発表会】

農業及び商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う課題研究の成果を発表することによって、農業と商業を学んだ生徒同士の学び合いを目指す。

【ビジネスプランコース】

外部講師を活用して生徒と地域社会との接点を増やし、生徒が提案するビジネスプランをとおして、地域社会に貢献できる人材教育を目指すことを目的に授業を開始した。



(図1)
商業科の生徒が農業科の生徒に簿記を教える様子



(図2)
農業科の生徒が商業科の生徒に測量を教える様子

成果と課題

- 互いの専門教科に対して興味・関心を高めることができた。しかし、課題研究では内容を「調査、研究、実験」とするのか「作品製作等」とするのか、農業と商業で捉え方が全く異なっていることがわかった。今後、「文」と「理」融合の手立てを模索し続けたい。
- 外部講師を活用した課題研究の取組「ビジネスプラン」の効果は大きかった。ビジネスプランの立案に関しても段階的に指導を受けることができ、内容の深いものが作成できた。